

体験授業2023

跡見学園女子大学
マネジメント学部
生活環境マネジメント学科

生活環境マネジメント学科では
“環境と暮らしをむすぶ
持続可能なビジネス”を
理論と実践を通して学びます

オープンキャンパスの体験授業で
生マネの学びを知ろう！

— 体験授業概要は裏面をご覧ください —

文京キャンパス



新座キャンパス

3月25日（土）新座
村田あが先生
リノベーションカフェ
の魅力を考える

5月28（日）文京
深町浩祥先生
ファッション素材と
SDGs

6月25（日）新座
宮崎正浩先生
地球温暖化と私たちの
生活

7月23日（日）文京
石渡尚子先生
食育活動してみませんか？

8月6日（日）文京
中西希和先生
ペットボトルキャップ
でアクセサリを作ろ
う！

8月19日（土）文京
赤松瑞枝先生
ユニバーサルマナー
を学ぼう！

9月10日（日）文京
安藤生大先生
キャベツで考える
SDGs

11月12日（日）文京
天海弘先生
食品メーカーから学ぶ
SDGs

お問合せ先 跡見学園女子大学入試課
学科HPは、こちらのQRコードからどうぞ



2023 年度 オープンキャンパス 体験授業一覧

3月25日 新座 村田あが先生	<p>●「リノベーションカフェの魅力を考える」</p> <p>空き家になった金属加工工場の建物をカフェにリノベーションした事例を紹介し、建物を壊し大量の廃棄物を出すのではなく、別の用途で使い続ける知恵は、環境やまちなみの持続可能性、SDGsの考え方にもつながります。授業後に友達とカフェめぐりを楽しむという大学生の生活を想像している人もいます。カフェのメニュー、お客様のファッション、インテリア、カフェの運営、全て生活環境マネジメント学科の学びにつながります。体験授業では幅広い学科の学びも紹介します。</p>
5月28日 文京 深町浩祥先生	<p>●「ファッション素材とSDGs」</p> <p>近年、衣服の生産から着用、廃棄に至るまでの環境負荷を考慮したサステナブル(持続可能)なファッションへの取り組みが広がっています。そうした取り組みのひとつとしてアパレル業界では、環境に配慮したオーガニックコットン、リサイクルコットンやリサイクルポリエステルなどのファッション素材(繊維・布地)を開発することで環境負荷の低減を実現しています。体験授業では実際に布地に触れながら、ファッション素材の多様性とSDGsへの取り組みについて考えます。</p>
6月25日 新座 宮崎正浩先生	<p>●「地球温暖化と私たちの生活」</p> <p>SDGsの第13目標は地球温暖化(気候変動)対策です。最近日本では桜の開花が早まったり、猛暑日が増えていきます。また、世界的に豪雨や干ばつなどの異常気象が起きています。これは今地球の気温が上昇しつつあるためであり、その原因は人類による二酸化炭素の排出であることは疑う余地はありません。このため、世界では温室効果ガスの排出を2050年までには実質ゼロとする目標を掲げています。この目標は果たして達成できるのでしょうか?体験授業では、この疑問に答えるとともに、これから私たちは身近な生活をどう変えたらよいかを考えます。</p>
7月23日 文京 石渡尚子先生	<p>●「食育活動してみませんか?」</p> <p>食育とは「生きる基本となる食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける」ことで、子どもから大人まで、あらゆる世代で重視されています。近年では、何をどのくらい食べるかだけでなく、SDGsの視点から環境への配慮も求められるようになりました。これまで石渡ゼミでは、様々な年代を対象に食育活動に取り組んできました。現在は小学生を対象とする“未来の健康を作る食育プロジェクト”が進行中です。体験授業では、早いうちから食育に取り組む重要性について、活動中のゼミ生が説明します。</p>
8月6日 文京 中西希和先生	<p>●「ペットボトルキャップでアクセサリを作ろう!」</p> <p>アップサイクルは、不用品や廃棄予定のものに手を加えることによって、新しく価値の高いものを作り出すことです。製品をそのまま生かす方法であるため、原料に戻すための費用やエネルギーが不要であり、環境負荷の低減にもつながることから注目されています。体験授業でペットボトルのキャップやハギレ布、リボン、ビーズなどを使って、オリジナルのアクセサリやストラップを作りながら、身近にできるアップサイクルについて考えてみましょう。</p>
8月19日 文京 赤松瑞枝先生	<p>●「ユニバーサルマナーを学ぼう!」</p> <p>皆さんはユニバーサルマナーを知っていますか?高齢の方や障害のある方、妊婦さん、ベビーカーを押している人、他国出身など様々な方をまちなみで見かけると感じます。このような方が困っているのを見た時、どうしていますか?社会の中で皆が気持ち良く生活し、SDGsの目標にもなっている「住み続けられるまちづくり」(目標11)を実現させるためにはどうしたら良いのでしょうか。この講義では「自分とは違う」誰かを思いやる心づかいと、適切な理解のもとに行動する重要性を学び、ユニバーサルマナーの基礎を身に付けます。</p>
9月10日 文京 安藤生大先生	<p>●「キャベツで考えるSDGs」</p> <p>キャベツは、畑で、大気中の二酸化炭素を取り込んで成長します。それを食べると、取り込んだ二酸化炭素は、人の呼吸を通して大気に戻ります。ということは、キャベツを食べても、大気中の二酸化炭素は増えも減りもしない(ニュートラル)なののでしょうか?実は、キャベツの「つくる」、「つかう」、「すてる」の一生(ライフサイクル)では、たくさんの燃料や資材を使います。この講義では、キャベツのライフサイクルからどれだけの二酸化炭素が出てくるのか解説し、どうしたらSDGs12(つくる責任、つかう責任)を達成できるかを考えます。</p>
11月12日 文京 天海弘先生	<p>●「食品メーカーから学ぶSDGs」</p> <p>人類の食は自然・社会・生活といった環境の変化により大きく変容してきました。しかし、現在においても食の安全・安心、健康、需給の確保や安定化をはじめ種々の問題や課題を抱えています。そこで国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)を具現化していくことで、これらの問題や課題を解決していくことが求められています。体験授業では食品メーカーをモデルケースとして、SDGsを具現化するためにどのような取り組みが立案、実行されているか学びます。その上でSDGsを達成していくための、今後の課題について考えていきたいと思います。</p>

◆ゼミ企画プログラム

8月6日 文京	<p>●「オーガニックコットンによる社会・環境課題の解決」(宮崎正浩先生ゼミ企画発表)</p> <p>ゼミ3年生がアパレル企業から出された課題を解決する新たなビジネスを考え、発表します。</p>
8月6日・19日 文京	<p>●「女子大生のシェアハウス」(赤松瑞枝先生ゼミ企画展示)</p> <p>ゼミ3年生が設計製作した空間を、図面や模型で紹介し、作成過程をまとめた動画上映も!</p>